

平成 22 年度 (第 41 回)
兵庫県社会人都市対抗サッカー大会優勝の記録
《神戸市代表チーム》

◆シード初戦、神戸市代表は北播代表に圧勝！

【試合日時】平成 23 年 2 月 6 日 (日) 10 時 00 分 kickoff (40 分ハーフ) <王子競技場>

【試合結果】6 : 1 (前半 3 : 0 / 後半 3 : 1)

前半	得点者(アシスト)	後半	得点者(アシスト)
17 分	岡良一 (ミドル S)	45 分	岡良一 (田中)
23 分	肥塚 (溢れ球 S)	55 分	田中 (ドリブル S)
40 分	藤井 (ドリブル S)	[60 分]	[失点]
		66 分	岡良一 (山田)

◆準決勝戦、神戸市代表は堅守淡路代表を崩し勝利！

【試合日時】平成 23 年 2 月 19 日 (土) 14 時 00 分 kickoff (40 分ハーフ) <いぶきの森 G>

【試合結果】2 : 1 (前半 1 : 1 / 後半 1 : 0)

前半	得点者(アシスト)	後半	得点者(アシスト)
15 分	藤井 (高須)	43 分	武田 (ミドル S)
[30 分]	[失点]		

◆決勝戦、神戸市代表は尼崎代表に圧勝し見事優勝！

【試合日時】平成 23 年 2 月 20 日 (日) 14 時 00 分 kickoff (40 分ハーフ) <いぶきの森 G>

【試合結果】8 : 2 (前半 4 : 0 / 後半 4 : 2)

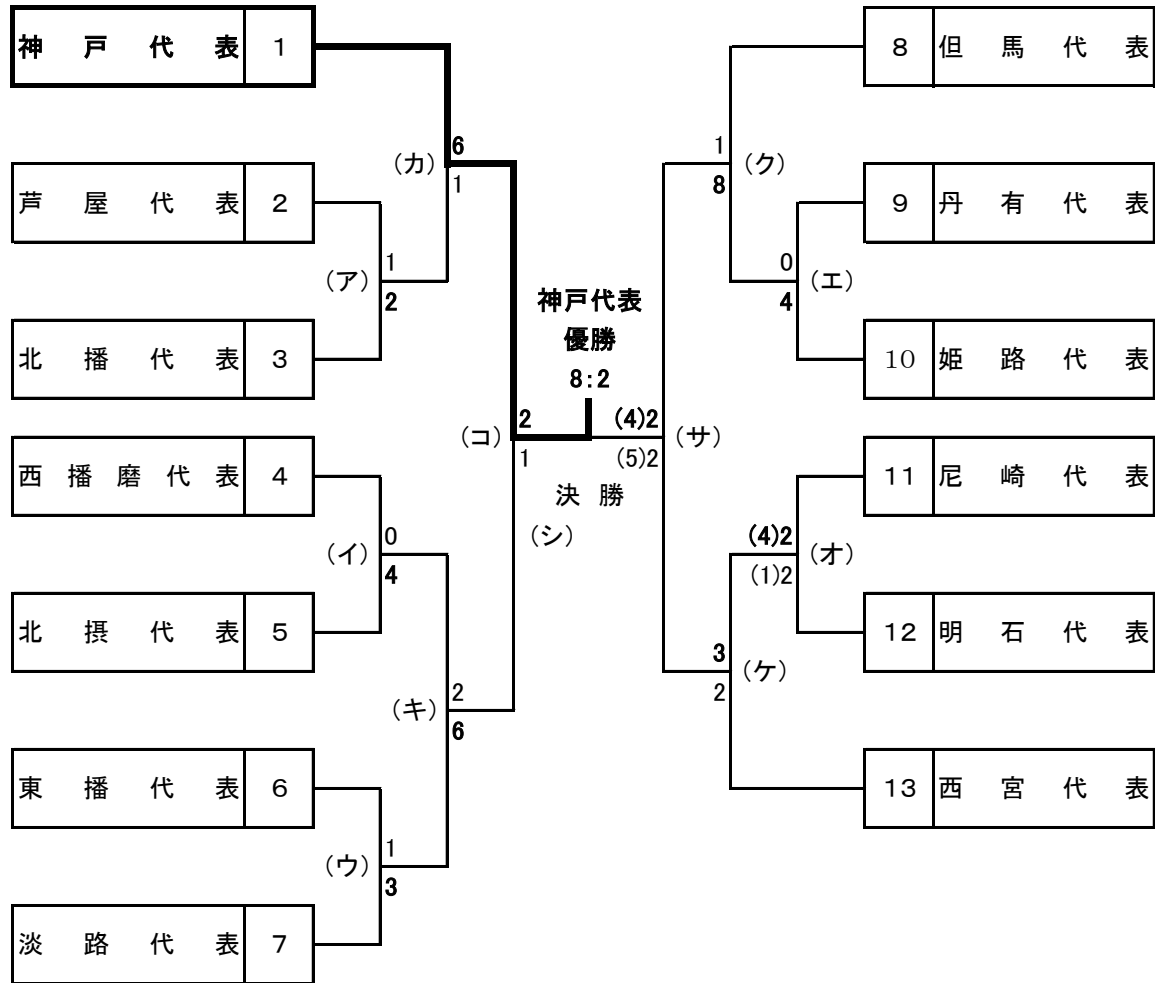
前半	得点者(アシスト)	後半	得点者(アシスト)
3 分	田中 (ドリブル S)	[50 分]	[失点]
15 分	藤井 (溢れ球 S)	[55 分]	[失点]
35 分	菊池 (高須)	59 分	岡良一 (高須)
36 分	菊池 (溢れ球 S)	65 分	肥塚 (喜田)
		68 分	岡良一 (高須)
		69 分	黒田 (高須)

【記録】通算戦績 3 勝 0 敗、得点 16、失点 4 <H23. 2. 20 決勝戦終了時>

得点		アシスト	
5 得点	岡良一【得点王】	5 アシスト	高須【アシスト王】
3 得点	藤井	1 アシスト	田中、山田、喜田
2 得点	菊池、肥塚、田中		
1 得点	武田、黒田		

第41回兵庫県社会人都市対抗サッカー大会組合せ

平成23年2月5日(土), 6日(日), 19日(土), 20日(日)開催



No	月/日	会場	時間	対戦相手	主審	副審	責任者
エ	2/5 (土)	いぶき	14:00	丹有代表 0 4 姫路代表 (県)			海老
イ			16:00	西播磨代表 0 4 北摂代表 (県)			
オ		王子	10:30	尼崎代表 2(4) (1)2 明石代表 (県)			澤山
ア			12:30	芦屋代表 1 2 北播代表 (県)			
ウ			14:30	東播代表 1 3 淡路代表 (県)			
		Hソプラ	19:00	レセプション			澤山
カ	2/6 (日)	王子	10:00	神戸代表 6 1 北播代表 (県)			澤山
ケ			11:40	尼崎代表 3 2 西宮代表 (県)			
ク			13:20	但馬代表 1 8 姫路代表 (県)			
キ			15:00	北摂代表 2 6 淡路代表 (県)			
コ	2/19 (土)	いぶき	14:00	神戸代表 2 1 淡路代表 (県)			澤山
サ			16:00	姫路代表 2(4) (5)2 尼崎代表 (県)			
シ	2/20 (日)	いぶき	14:00	神戸代表 8 2 尼崎代表 (県)			澤山

◆シード初戦、神戸市代表は北播代表に圧勝！

【試合日時】平成23年2月6日（日）10時00分kickoff（40分ハーフ）＜王子競技場＞

【試合結果】6：1（前半3：0／後半3：1）

前半	得点者(アシスト)	後半	得点者(アシスト)
17分	岡良一（ミドルS）	45分	岡良一（田中）
23分	肥塚（溢れ球S）	55分	田中（ドリブルS）
40分	藤井（ドリブルS）	[60分]	[失点]
		66分	岡良一（山田）

【出場選手】

スタメン				試合終了時			
9		11		9		11	
岡良一		肥塚		岡良一		肥塚	
7		8		18		19	
藤井		岡秀幸		山田		黒田	
6		10		16		10	
武田		高須		藤本		高須	
2		5		17		5	
越智		竹内		田中		竹内	
4		13		4		3	
酒井		寺田		酒井		村山	
1				1			
荒谷				荒谷			

【感想】今大会は地元神戸開催で絶対に優勝しなければならないというプレッシャーがかかる中、

序盤でこそ選手たちに硬さが見られたが、前半17分に神戸のFW岡良一が弾丸ミドルで先制点を挙げるとその後は神戸らしい速いパス回しが戻ってきた。ただ、全体的にプレーがセーフティーでダイレクトプレーが少なく何度もサイド攻撃を試みるも相手DFに付かれクロスを上げるまでには至らなかった。それならばと先制点から5分後にゴール前でFW肥塚が溢れ球に素速く反応し個人技で追加点を挙げると、前半終了間際にもMF藤井が相手DFのトラップミスを逃さずボールを奪い取りそのままドリブルシュートで3点目を挙げた。この自分がまずシュートを撃つんだという強い積極的な気持ちがとても良かった。

後半神戸は選手を大幅に入れ替えたが、前半の反省を活かし、全員が積極的にダイレクトプレーをするようになった。これにより速いダイレクトパス回しから逆サイドへの展開が頻繁に出るようになり、後半開始5分に速いクロスから4点目を挙げる事ができた。

その後も神戸は攻撃の手を緩めることなくサイド攻撃主体で攻め続け、立て続けに5点目・6点目を挙げた。この得点以外にも落ち着いてシュートしていればあと3～4点は得点できたし、相手カウンター攻撃で簡単に1失点してしまったことは勿体なかったが、失点リスクを冒して点を取りに行く神戸らしい圧勝試合で神戸代表選手とチーム自体の成長が見られ非常にナイスゲームであった。

【ギャラリー】

～スターティングメンバー、大事な初戦の緊張を楽しんでいるかのような明るさ！～



～積極的なドリブル突破！～



◆準決勝戦、神戸市代表は堅守淡路代表を崩し勝利！

【試合日時】平成 23 年 2 月 19 日（土）14 時 00 分 kickoff（40 分ハーフ）<いぶきの森 G>

【試合結果】2 : 1（前半 1 : 1 / 後半 1 : 0）

前半	得点者(アシスト)	後半	得点者(アシスト)
15 分 [30 分]	藤井（高須） [失点]	43 分	武田（ミドル S）

【出場選手】

スタメン				試合終了時			
9		14		9		8	
岡良一		菊池		岡良一		岡秀幸	
18		7		7		19	
山田		藤井		藤井		黒田	
15		10		6		10	
竹村		高須		武田		高須	
2		5		12		5	
越智		竹内		喜田		竹内	
4		13		4		17	
酒井		寺田		酒井		田中	
1				1			
荒谷				荒谷			

【感想】神戸の初戦を見た各チームが神戸を優勝候補筆頭に挙げる中、この日の淡路は徹底したカウンター狙いの守備固め戦術を取り、前半から神戸が一方向的に攻め続けるもペナルティエリア内でことごとくボールを弾かれなかなか枠内シュートが撃てなかった。それでも前半 15 分に MF 高須からの縦スルーパスに抜け出した MF 藤井がそのままドリブル突破し先制点を挙げた。これで神戸が波に乗るかと思われたがその後も淡路の守りは堅く、逆に前半 30 分にカウンター攻撃により同点に追いつかれた。

この試合も神戸は後半から大幅に選手を入れ替えたが、選手たち全員が共通の基本戦術を理解しており全く戦力が落ちないのが神戸の強さである。後半開始 3 分、早速途中出場の MF 武田がゴール前の淡路の堅守を嘲笑うかのように枠内狙いのロングシュートを放ち、不意を突かれた相手長身 GK は全く動けず待望の追加点を挙げた。その後も神戸は攻撃の手を緩めることなくダイレクトプレーで頻りにサイドチェンジしサイド攻撃主体で攻め続けたがなかなか追加点は奪えなかった。しかし相手カウンター攻撃に対しても初戦の反省を活かした神戸の安定した守備ラインは崩れることなく、そのまま危なげなく終了した。

初戦や今日の試合で際だったのは、神戸の選手は積極的にチャレンジし失敗しても必ずその失敗した選手が追いかけ、同時に味方もカバーに入っているところであり、また相手選手がボールを持った時も必ず 2~3 人で素速く相手を囲い込みボールを奪いに行くところである。この選手個人個人の献身的なプレーがチームの連携を高めており、他の代表チームではなかなか見られないところである。

【ギャラリー】

～スターティングメンバー、負けられない準決勝を前にして余裕の明るさ！～



～神戸の最大の魅力であるサイド突破&攻撃で積極的にシュート！シュート！シュート！～



◆決勝戦、神戸市代表は尼崎代表に圧勝し見事優勝！

【試合日時】平成23年2月20日（日）14時00分kickoff（40分ハーフ）<いぶきの森G>

【試合結果】8：2（前半4：0／後半4：2）

前半	得点者(アシスト)	後半	得点者(アシスト)
3分	田中（ドリブルS）	[50分]	[失点]
15分	藤井（溢れ球S）	[55分]	[失点]
35分	菊池（高須）	59分	岡良一（高須）
36分	菊池（溢れ球S）	65分	肥塚（喜田）
		68分	岡良一（高須）
		69分	黒田（高須）

【出場選手】

スタメン				試合終了時			
9		14		9		11	
岡良一		菊池		岡良一		肥塚	
7		8		7		19	
藤井		岡秀幸		藤井		黒田	
6		10		16		10	
武田		高須		藤本		高須	
17		5		12		5	
田中		竹内		喜田		竹内	
		4		6		6	
		酒井		武田		武田	
		13		3		3	
		寺田		村山		村山	
		1		1		1	
		荒谷		荒谷		荒谷	

【感想】初戦・準決勝とも神戸の超攻撃スタイルで危なげなく勝利してきた勢いがこの決勝でも爆発した。

前半開始3分にMF田中が積極的にドリブルシュートを仕掛け、ゴール隅に落ち着いて流し込み早々と先制点を挙げた。これが号令となりその後は一方的に神戸の攻撃が続く展開となった。15分にはMF藤井が後ろに溢れるボールを振り向き様に弾丸シュートを決め2点目、35分には前回大会の尼崎戦でハットトリックを決めた相性の良いFW菊池がMF高須からの縦スルーパスに抜け出しそのままドリブル突破し3点目、その1分後にもFW菊池が溢れ球に素速く反応し4点目を決めた。ただ、追加点となる決定機を何度も外し完全に尼崎の息の根を止めることができなかった為に後半早々逆襲を食らうこととなった。

この試合も神戸は後半から大幅に選手を入れ替えたが、圧勝ムードで気が緩んだのか、後半開始15分の間に神戸のミスから立て続けに2失点し一転して選手がバタつき始めた。この嫌なムードを断ち切るべく、チームの核である高須主将が選手に言葉とプレーで気を引き締め直し、選手たちもすぐにこれに応えた。2失点目から4分後、FW岡良一がMF高須からの縦スルーパスに抜け出しそのまま追いつがるDFを跳ね退けドリブルシュート、

貴重な追加点を挙げた。その6分後には、サイド突破した左サイドDF喜田からの低くて速いクロスにFW肥塚が体ごとスライディングしピンポイントで合わせて6点目、さらにその3分後にもまたまたMF高須からパスを受けたFW岡良一が個人技で7点目、そして締めはペナルティエリアに走り込んでMF高須からパスを受けたMF黒田が大会初ゴールを叩き込み、結果、決勝戦では珍しい8対2の圧勝劇で目標宣言通り優勝を果たした。

【総括】今期神戸代表チームは12月中旬から1月末までの間、社会人関西・県リーグ上位チームや関西学生リーグ上位チームと練習試合を毎週のように行い、強豪チームの速いプレッシャーや強い当たりには鍛えられることにより、ダイレクトプレーやファーストタッチなどのプレーの質が格段に向上した。また、選手個々の特徴（得意なプレー）を最大限に引き出すフォーメーションで試合を重ねてきた結果、選手同士も互いの動きを十分理解できるようになった。さらに、合宿では同じモチベーションの選手たちが集まり学生時代のクラブ活動のような雰囲気の中皆で食事し夜遅くまでサッカー談議で盛り上がり、社会人になっても熱く楽しく高いレベルでサッカーができることを選手たち自身が実感してくれた。このことが代表チームの成熟につながり、本大会でその成果を十二分に発揮してくれた。

選手たちには今回の代表活動での経験を活かし、まず所属チームのレベルアップに貢献してもらった上で、次期代表チームの中心選手として活躍できるよう更なる実力をつけて戻ってきてくれることを期待しています。

【ギャラリー】

～スターティングメンバー、決勝戦を前にして緊張感漂うも気合いがみなぎる！～



～強固な守備陣が相手の攻撃を跳ね返し、ゲームを完全に支配～



～サイドから低くて速いクロスを何度もぶち込み、ゴール前はシュートの嵐～



～選手・スタッフが一致団結したチームは最強で明るい！目標宣言どおり圧勝で優勝！！～



以上